

総務常任委員会の記録

(建設環境課)

招 集 年 月 日	令和7年3月4日（火）
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月5日（水） 午前11時09分
閉 会	同 上 午後12時15分
出 席 委 員	山田 寛二、安西 博文、赤松 紀幸、加藤 康幸、森岡 健治、 山石 恭助、山崎 匡
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫 課長 谷口 健二、課長補佐 金谷 健行、 係長 信崎 恵一、係長 森田 知之
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 森本 秀行、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 議案第24号「令和7年度松野町一般会計予算について」 2 議案第30号「令和7年度松野町簡易水道事業会計予算について」

山 田 委 員 長	議案第 2 4 号「令和 7 年度松野町一般会計予算」、建設環境課所管分の審査を行います。 担当課長に説明を求めます。
谷 口 課 長	(業務計画説明) 議案第 2 4 号 令和 7 年度松野町一般会計予算、建設環境課所管分について、ご説明いたします。予算書の 7 5 ページをご覧ください。歳出 4 款衛生費について、ご説明いたします。1 項保健衛生費、5 目環境衛生費の予算額は、4 6 3 9 万 3 千円を計上しております。内容は、職員の人件費、町内各部落から就任いただいております環境保全推進員報酬のほか、1 0 節需用費では、広見川等一斉清掃作業用の燃料費や「花と緑の町づくり事業」の活動にご協力いただいておりますボランティア団体へ配布する花苗購入費を計上しております。予算書の 7 6 ページをご覧ください。1 1 節役務費では、町内 9 河川の水質検査手数料、1 8 節 負担金、補助及び交付金では、広見川等をきれいにする協議会等の負担金のほか、委員会資料は、1 ページをご覧ください。補助金関係では、生活排水による公共水域の水質汚濁対策として、設置を促進しております小型合併処理浄化槽設置費への補助金として、新築、転換あわせて 1 0 基分、6 5 2 万 9 千円を計上しております。委員会資料は、2 ページをご覧ください。新エネルギー機器等設置費補助金では、温室効果ガス排出量削減を目的とした、太陽光発電、蓄電池等のシステム設置費補助金として、計 1 1 0 万 8 千円を計上しております。また、令和 7 年度から新たな取組みとして、電気自動車購入者に対して、一部補助を予定しております。委員会資料は、3 ページをご覧ください。本事業の目的は、自家用電気自動車の導入の促進を支援することにより、地球温暖化対策を推進するとともに、災害発生時に備える対策や被災後の復興、復旧力の向上を図ることを目的としております。補助の対象となる車両は、バッテリーに充電した電気を動力源として走行する電気自動車で、使用の本拠地を町内設定し、初度登録したものとなります。対象者は、町の基本台帳に登録されて

いる方で災害時に補助金の交付を受けた車両設備を活用し、地域の給電活動等に協力する意思を表明する誓約書を交わすことが補助の要件となります。補助額については、1台当り10万円を限度額とし5件分、50万円を予定しております。委員会資料は、4ページをご覧ください。令和6年度から取り組んでおります地域猫の不妊去勢手術事業として、町内に生息している飼い主のいない猫の不妊、去勢手術費用に、計45万円を計上しております。23節投資及び出資金では、地方公営企業繰出基準に基づき、簡易水道事業の企業債、元金償還金に対して、一般会計から出資金として、1367万5千円を計上しております。27節繰出金こちらも簡易水道事業の企業債の利子償還金として、110万円を計上しております。続いて、4款衛生費、2項清掃費、1目塵芥処理費について、ご説明いたします。予算額は、3648万3千円を計上しております。内容につきましては、職員の人件費、ごみ処理に係る経費のほか、予算書の77ページ、委員会資料は、5ページをご覧ください。10節需用費では、指定ごみ袋、可燃物用中サイズの導入を予定しております。現在、本町では、廃棄物処理に係る指定ごみ袋4種類、大小2種類のサイズにより、収集処理を行っておりますが、可燃物の中サイズ導入を望む声が多く寄せられており、ニーズに対応したごみ処理体制を確立するため、中サイズの導入を予定しております。導入のスケジュールについては、令和7年度、ごみ袋の製作を行い導入時期は、令和8年4月予定としており、20万枚分の製作費として、296万3千円を計上しております。また、販売価格についても、近隣市町との価格統一を図るため、中サイズは、20枚入り、1袋を600円とし、現在、1袋600円で販売しております小サイズは、400円へ引下げ、販売することを予定しております。委員会資料は、6ページをご覧ください。17節備品購入費では、令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、プラスチック製品の資源循環の取り組みが推進されております。現在、宇和島広域管内の市町では、プラスチッ

ク製品等の廃棄物は可燃物として処理しておりますが、今後、きれいなプラ製品を分別回収し、再資源化を図る取り組みについて、広域関係市町での協議・検討を進めております。

令和7年度からの取り組みとして、本町では町内の3施設にリサイクル倉庫を設置し、家庭から搬出されるプラスチック廃棄物を試験回収するとともに、説明会の実施や啓発活動を予定しております。また、宇和島市環境センターにおいても、令和7年度にプラスチック製品を回収する施設の整備が予定されており、完了後令和8年度からの広域1市3町での本格回収にともない、必要な倉庫、ボックス等の購入費として、221万7千円を計上しております。4款衛生費に係る歳入について説明いたします。21ページをお開き下さい。13款2項3目2節、塵芥処理手数料では、ごみ袋販売手数料、粗大ごみ収集手数料など、757万1千円を計上しております。これらの収入については、塵芥作業に係る経費のほか、広域事務組合の運営負担金に充てられるものであります。23ページをご覧ください。14款2項3目2節には、浄化槽設置に対する循環型社会形成推進交付金217万6千円を計上しております。26ページをご覧ください。15款2項3目2節では、浄化槽整備事業費補助金143万6千円、新エネルギー等関連設備導入促進支援事業費補助金29万9千円を計上しております。次に、予算書の94～95ページをご覧ください。歳出8款土木費についてご説明いたします。1項土木管理費、1目土木総務費については、予算額、980万1千円を計上しております。内容は、職員の人件費のほか、事務費、協会費等の義務的経費が主なものです。2項道路橋梁費 1目道路橋梁総務費については、予算額19万4千円を計上しております。内容は、道路協会、各種協議会の負担金が主なものです。2目道路維持費については、予算額5910万7千円を計上しております。内容は、職員の人件費や町道の維持管理に係る作業車の燃料費や修繕料のほか、予算書96ページ、委員会資料は、7ページをご覧ください。14節工事請負費では、各部落からの要望事業や交通安全

	対策に係る整備費を計上しております。道路等維持管理事業については、各部落が要望箇所の優先順位を定め、2年に1度、年間5部落の事業を実施する取り組みを行っており、工事費として、1000万円を計上しております。15節原材料費では、町道の維持管理、直営事業の工事用材料費として、700万円を計上しております。予算書の97ページ、委員会資料は、8ページをご覧ください。3目道路新設改良費については、予算額1億7353万7千円を計上しております。内容につきましては、職員の人件費や事務等に必要な経費のほか、12節委託料では、道路法により、5年に1度実施しております橋梁点検のほか、道路改良事業に係る測量設計費など、4909万3千円を計上しております。14節工事請負費では、町道3路線の整備をはじめ、修繕計画に基づき実施しております橋梁の修繕工事3件、舗装修繕工事2路線など、計1億540万円、18節 負担金、補助及び交付金では、愛媛県が実施しております県道3路線の整備に係る負担金644万9千円を計上しております。予算書の98ページをご覧ください。続きまして、8款土木費、3項河川費、1目河川総務費については、予算額5万3千円で、内容は消耗品費や協議会会費であります。委員会資料9ページをご覧ください。2目砂防事業費については、予算額1億2638万1千円を計上しております。内容は、急傾斜地区と指定されている地域の土砂災害防止対策に係る費用で、12節委託料では、測量設計費として、207万9千円、14節工事請負費は、7件分の工事費、1億2300万円を計上しております。18節負担金、補助及び交付金では、愛媛県が整備を進めております谷口地区の急傾斜崩壊対策事業負担金58万4千円を計上しております。予算書99ページをご覧ください。続いて、4項住宅費、1目住宅管理費については、予算額3758万7千円を計上しております。内容としましては、職員の人件費、町営住宅の管理に必要な経費のほか、予算書100ページ、委員会資料は、10から11ページをご覧ください。12節委託料では、建設以降、住宅敷地内の地盤沈下が深刻な課題とな
--	---

っている小集落改良住宅松丸第2団地の現状調査を予定しております。松丸団地第2団地は、昭和52年に盛土工法により宅地造成され、翌年度、30戸の住宅が建設されております。建設以降、急激な地盤沈下が始まり、これまでも調査や修繕等を行っておりますが、現在も、微量ではありますが沈下が進行しており、入居者からは、今後、発生が予測される「南海トラフ巨大地震」などの影響を不安視する声が寄せられている状況であります。調査する内容については、第2団地全体約10600m²の地盤沈下の状況や地盤高、クラックの測定のほか盛土法面部の変位測定、地下排水路の調査を実施し、対応策の検討することとしており、調査費用として、291万5千円を計上しております。委員会資料は、12ページをご覧ください。18節負担金、補助及び交付金では、昭和56年5月31日以前に建築に着工された民間木造住宅の耐震改修事業費補助金として295万7千円、委員会資料は、13ページをご覧ください。住宅内の一部をシェルター整備に要する補助金1件分、40万円を計上しております。委員会資料は、14ページをご覧ください。シェルター設置事業の新たな取組として、避難行動要支援者への避難の実効性向上を図ることを目的とした、国の補助制度が創設され、令和7年度から取り組むこととしております。事業の対象要件は、従来のシェルター事業と同様となりますが、本事業では、対象者が非常時に備えた個別避難計画を策定した要支援者や65歳以上の高齢者世帯、障がいのある方などが対象となり、補助金の限度額が、200万円、1件分を予定しております。引き続き、HP・広報や自宅訪問による補助制度の周知に努め耐震化率の向上を図る取り組みに努めることとしております。委員会資料は、15ページをご覧ください。空家対策では、大規模地震の影響による倒壊の恐れや周辺の生活環境に悪影響を与えている空き家の除却に係る費用、5件分を空き家再生等推進事業費補助金として、400万円計上しております。ほかブロック塀の除却及び建替え工事に要する経費の一部を補助するブロック塀等安全対策事業費補助金30万円

	を計上しております。 8 款 土木費に係る歳入について、説明いたします。予算書 23 ページをご覧ください。14 款 2 項 5 目 1 節道路新設改良費補助金として、6289 万円、2 節住宅管理費補助金では、木造住宅耐震化、空家等除却促進事業費の社会資本整備総合交付金として、483 万 3 千円、26 ページをご覧ください。15 款 2 項 5 目 2 節砂防事業費補助金として、5700 万円、27 ページをご覧ください。3 節住宅管理費補助金では、木造住宅耐震化、空家等除却促進事業費など 234 万 2 千円を計上しております。34 ページをご覧ください。21 款 1 項 1 目の過疎対策事業債の内、7400 万円、2 目辺地対策事業債 640 万円を道路改良、橋梁や舗装修繕等の交付金事業補助残に充当しております。続きまして、3 目の緊急自然災害防止対策事業債 6810 万円は、がけ崩れ防災対策事業の補助残に充当するものです。 125 ページをご覧ください。11 款災害復旧費、2 項公共土木施設災害復旧費、 1 目道路橋梁災害復旧費は、存置予算 1 千円を計上しております。以上で説明を終わります。よろしくご審議いただきご承認賜りますようお願い申し上げます。
山 田 委 員 長	担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
安 西 委 員	基本方針の 5 番目に、通学路の安全対策を実施するというようなことが書かれております。去年の 9 月に一般質問で子どもたちの通学路の安全についてお願いをしたところではありますが、国道の横の現在通っております、国道の横の歩道、祝井地区付近、あそこは本当に狭くて段差がたくさんあるので、何とかならないかということをお願いを、危惧をしておったところ、中学生がこけたそうであります。やっぱりこけた。中学生が、「どうしてもあそこは怖いけん、おっちゃん、もとの町道延野々吉野線、あっちを僕らとおりたいがよ、あっちのほうで安心ながよ。」という声がこの間聞かれました。

	町道延野々吉野線、崖崩れが7、8年前に起こって、地面も今安定してると思うんですね。あそこ危ないから通学路を変更してくださいというような要請は建設課から中学校へされて、そういう変更になっとるんじゃないかと思いますが、1回決めたもん直るまで通さんというようなことではなくてですね、柔軟な姿勢で、今、延野々吉野線も大分落ちついておりますし、土嚢を敷いて落石も見当たりませんので、どうか中学生の実際利用している吉野生地区の子どもたちの切実なる願いを聞いてほしいと、建設課、教育長、校長が協議すればできることだろうと思うんですけど、どういう仕組みか分かりませんが、通学路、子どもたちが望んでおります。切実な願いでありますので、聞いていただけたらという質問であります。
谷口課長	ただいまの安西議員の質問についてですが、延野々吉野線につきましては、以前大きな落石がございまして、現在、対策を行うために国のほうに要望して、事業を実施に向けて、測量の取組とかを行っている状況でございます。現在、通学路、生徒の通行は教育委員会のほうに連絡いたしまして写真等も現地の状況等を報告いたしまして、通行止めと生徒の通学の通行止めというような方策をとっております。 この事業につきましては、現在国の補助事業を頂きながら、測量の実施を行っているんですけども、内容としては、保安林の解除とか、あと高圧の電流を通す電柱等が通っておりまして事業実施にはまだ至っていない状況でございます。事業実施については、2、3年、向こうになろうかと今判断しておるところでございます。 そのような点もございまして、中学生の生徒には御迷惑をおかけしておるんですけど、保護者等にも、この状況はまた、現地の状況、今、発注しておる業者、業務委託を発注している業者とも、現地の調査また確認を行いまして、教育課等も十分協議して、またその内容について協議、報告等させていただいたらと思っております。
坂本町長	この件、以前から、安西委員さんに御指摘も頂いておりますし、私も、もうあそこ祝井のところ状況を見たら、なかなか厳しいというこ

	と分かりますし、今ちょっと教えていただいた事故があったということ、これも本当に深刻に受入れなければならないというふうに思っています。 教育委員会のほうにもですね、何とか延野々吉野線、子どもたちを通すことができないのか、私のほうからも何度も言ってるんですが、やっぱ上部に大きな転石がまだありまして、そこがちょっと不安であるという回答でございました。 ただもう1回、部内でPTA、それから中学校の校長先生も含めて検討させていただきますので、その内容につきましてはまた御回答させていただきます。
山 石 委 員	ここに出ております民間木造住宅のシェルターについて、今まで私も何回か話をしたんですけど、これ補助費が200万と書いてあるんですが、大体、これを改築するのに幾らぐらいかかるのかちょっと教えてもらいたいと思います。
谷 口 課 長	民間木造住宅のシェルターの設置事業でございますが、こちらの事業は令和7年度から新たな補助事業はメニューができてまして、200万円の補助が交付できるというような内容になっております。 シェルターの設置の費用なんですけれども、これは住宅の規模にもよりますけれども、4.5畳ほどのもので約200万円ほどかかるというような見積りを今頂いているところでございまして、規模が大きくなればそれ以上になりますし、4.5畳ほどのものを設置するのであれば、200万円ではほとんど個人負担がなく整備ができてというような事業になっておりますので、こちらまた周知に努めまして耐震化の促進を図りたいと考えております。
山 石 委 員	もう南海トラフ地震もいつ来るやら分からん状態にありますけど、以前回りよったら高齢の人から1部屋だけでも頑丈にしてもろとったら、私らそこにおったら何とかなるんじゃないかなろうかという話を聞いたもんで、今まで何回か話したんですけど、もし、たくさんあれば少しは値段が下がるんか分かりませんが、これを町のほうで各高齢者の

谷口課長	ほうに斡旋されて、できるだけこういうものがあれば尊い命が助かる率が高くなるんじゃないかならうかと思われるので、是非やってもらいたいと思うんですが、どうでしょうか。 新たな取組でございますので十分住民の方には、周知活動に努めまして、事業の推進、努めたいと思います。 まだ耐震化のされてない住宅、多く残されておりますので、今後事業、この新たな200万円で、ほぼ個人さん無料でできますので、事業の促進を図りたいと考えております。
山石委員	それでは、できるだけ周知を徹底されまして、できるだけ進めてもらいたいと思います。
赤松委員	今の山石委員の関連なんですけど、民間の木造住宅のシェルターの設置ですが、この資料によりますと今年は1件分ということでございますが、もし今も話出ておりましたように、もし要望が数件あった場合には、今年度はもう1件しかいけないのか、あと追加でこの要望ができるのかということと、これ1件であれば皆さん是非ということで、複数の要望があった場合の選定ですね、どのような選定をされていく見込みなのか、そこをお聞きしたいのと、この資料の35ページに、本年度の道路新設改良費ということで、前年度よりも1,300万余り多い1億4,970万が予算化をされておりますが、この財源の中で、国県それから地方債の後、一般財源が641万円計上されておりますが、資料に各事業が列記されてありますが、この中のどれに対して、一般財源の640万余りが必要なのか、その内容等について御説明願いたいと思います。
谷口課長	まずはじめにシェルター事業についてでございますが、令和7年度は当初1件を予定して予算計上させていただきました。これはこれまでに、シェルター事業と耐震改修は予算計上しておりましたが、なかなか申込みがないということで、当初は1件とさせていただいております。 これが応募多数でございましたらまた、国県のほうにも要望いたし

赤 松 委 員	まして、戸数のほうは増やしていきたいと思っております。 また申込み多数の場合の選定につきましても、これはもう条件的に補助の対象となるのであれば申込み順ということになります、なるべく予算を確保して事業の推進に図りたいと考えております。 次に、道路改良事業費の一般財源なんですけども、これらは事業としては、国の補助事業、あと、先ほど説明しましたけれども、過疎債、辺地対策事業債を充当して整備することにしておりますけれども、近年、過疎債の圧縮等もございまして、この中でも、この一般財源となっておりますのは、橋梁の長寿命化の橋梁点検、ソフトメニューのほうが一般財源とする、現在は予算計上としております。 今の道路新設改良の関係なんですけど、今の説明では橋梁、1番下、資料のその橋梁点検46橋ということで3,200万円が予算化されておりますが、この中でひょっとしたら600万円余りの一般財源が必要となるという見込みでの予算計上ということで理解したらいいわけでしょうか。
谷 口 課 長	橋梁の長寿命化事業の事業費の内訳といたしましては、事業費3,200万円で、補助額が2094万4,000円。地方債を充当を500万円を予定しておりまして、一般財源が、605万6,000円という計上にさせていただいております。
山 崎 委 員	河川改修のことでお聞きしたいと思います。広見川等、かなり水害対策というか、進んでると思うんですけど、新たな吉野の西地区とかの予定があると思うんですけど、今後の河川改修の予定等について教えていただきたらと思います。
谷 口 課 長	広見川の河川改修の整備につきましては、平成30年の西日本豪雨以降、愛媛県のほうでも、河川の調査等を行いまして、現在吉野橋から上流の河川改修を行う測量設計を行っているところでございます。 令和6年の10月には、吉野地区に対して、河川改修の整備の予定等について説明は行っているところでございますが、今後の予定につきましては、令和7年度と令和8年度に吉野橋上流の用地買収を行い

	まして、令和８年度から工事を着手するというように、愛媛県のほうから現在、報告を受けておりまして、その内容につきましては河川の幅が大きく広がるものですから、河川のわきを通ります町道の整備も、ちょっとかかるようになりまして、その整備を優先的に先にやってから、河川改修を今実施しようではないかということで、吉野西地区のほうから整備を進めるということで現在、愛媛県のほうからは事業の報告を受けているところでございます。
山 崎 委 員	西地区の整備状況については、予定について分かったんですけど、それ以外の部分、川底の部分も、土砂の堆積物をのけたりとかいろいろ工事は私も確認はしてるんですけど、それ以外の部分について、どういう予定があるのか、もしくは一旦その時点で河川改修については、終わるってということなのか、今後の予定等も含めて教えていただきたらと思います。
谷 口 課 長	河川改修と同時に、河川内に堆積している土砂も、今後も吉野地区、延野々地区も合わせて、今後も進めていくということは報告を受けているところです。
山 田 委 員 長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。 ただいま審査しております、議案第２４号について、原案のとおり可決すべきものと決定することに、ご異議ありませんか。 （異議なしの声）
山 田 委 員 長	賛成全員です。 したがって、当委員会は、議案第２４号「令和７年度松野町一般会計予算」、建設環境課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。
山 田 委 員 長	続きまして、議案第３０号「令和７年度松野町簡易水道事業会計予算」の審査を行います。担当課長に説明を求めます。
谷 口 課 長	（業務計画説明） それでは、議案第３０号令和７年度 松野町簡易水道事業会計予算

についてご説明いたします。予算書の1ページをご覧ください。第2条につきましては、業務の予定量を定めるものでありまして、給水戸数は、2000戸、年間総給水量は、70万7000m³、一日平均給水量は、1990m³、主要な建設改良は、1230万円を予定しております。第3条は、水道事業の収益的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入につきましては、第1款 簡易水道事業収益の予定額を、1億780万4千円とするものです。第1項 営業収益は、主に水道料金でありまして、9453万5千円を計上しております。第2項 営業外収益1325万9千円につきましては、

一般会計からの補助金等を計上するものであります。第3項 特別利益は、1万円を計上しております。支出につきましては、第1款 簡易水道事業費用の予定額を、1億301万8千円とするものです。第1項 営業費用は、水道施設の管理等に要する経費として、8927万9千円を計上しております。第2項 営業外費用872万9千円につきましては、企業債の償還利息、消費税を計上するものであります。第3項特別損失は、1万円を計上しております。第4項予備費は、500万円をそれぞれ計上しております。2ページをご覧ください。第4条は、資本的収入及び支出の予定額を定めるもので、収入につきましては、第1款資本的収入の予定額を、2567万4千円とするものです。第1項企業債720万円については、令和7年度から予定しております管路更新事業の建設企業債を計上しております。第2項出資金1367万4千円については、一般会計からの企業債の償還元金を計上するものであります。第3項補助金480万円については、管路更新事業に伴う国庫補助金を計上しております。支出につきましては、第1款 資本的支出の予定額を、3955万4千円とするものです。第1項建設改良費は、1405万3千円は、水道施設の整備に要する経費や老朽車両の更新費用のほか、水道管更新事業に係る測量設計委託料を計上しております。第2項企業債償還金は、2550万1千円を計上するものです。第5条から第9条までは、一時借入金の限

度額、会計上の経費の流用、他会計からの補助金額、棚卸資産購入限度額について、定めておりますのでお目通しをお願いいたします。続きまして、第3条 収益的収入及び支出の内訳について、説明いたしますので、8ページの事項別明細書をご覧ください。収益的収入のうち、主なものについて説明いたします。1款簡易水道事業収益、1項営業収益、1目 給水収益につきましては、水道料金の調定見込額9450万5千円、2目その他営業収益は、指定給水装置工事申請手数料など3万円を計上しております。続きまして、2項営業外収益、2目補助金につきましては、簡易水道事業債及び公営企業適用債利息に係る一般会計からの補助金109万9千円を計上しております。9ページをご覧ください。3項特別利益、1目過年度損益修正益については、過年度調定が追加修正となった場合のため計上しております。続きまして、収益的支出について、説明いたします。10ページをご覧ください。1款簡易水道事業費用、1項営業費用、1目原水及び浄水費については、浄水施設の管理経費として、580万3千円を計上しております。内容は、水道管理に必要な薬品等の購入費のほか、浄水場ろ過施設の砂洗浄委託料であります。2目総係費については、水道事業に係る経費として、5387万5千円計上しております。内容は、職員の人件費、施設管理に係る燃料費や光熱水費のほか11ページをご覧ください。18節委託料1083万3千円は、管路の漏水調査、システム保守のほか、検針委託料を計上しております。22節使用料及び賃借料は、水道施設の監視、水道会計システム等の使用料であります。23節修繕費829万1千円は、漏水箇所の修繕、資材等の購入費のほか、在庫資材の減価償却費を計上しております。12ページをご覧ください。35節負担金では、水質検査協議会等の負担金264万8千円を計上しております。3目減価償却費2960万1千円は、水道施設に係る建物・構築物・機械・車両・工具等の減価償却費であります。13ページをご覧ください。次に、2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費、1節企業債利息210万7千円につ

いては、簡易水道事業債及び公営企業会計適用債の償還金利子分を計上しております。2目消費税及び地方消費税662万2千円については、納税見込額を計上しております。4項予備費は、500万円計上しております。続きまして、資本的収入及び支出の内訳について説明いたします。14ページをご覧ください。1款資本的収入、1項企業債、1目建設企業債720万円につきましては、令和7年度から予定しております管路更新事業の建設企業債を計上しております。2項出資金、1目他会計出資金1367万4千円は、企業債の元金償還金に対する一般会計の出資金を計上しております。3項 補助金、1目国庫補助金480万円は、管路更新事業に伴う国庫補助金を計上しております。次に、資本的支出について説明いたします。予算書15ページをご覧ください。1款資本的支出、1項建設改良費、2目送水及び配水施設費には、今後予定しております配水管路耐震化事業に係る測量設計費、1200万円を計上しております。事業の内容についてご説明いたしますので、委員会資料16ページをご覧ください。旧松野簡易水道区域の水道配水管は、昭和58年以前に整備されており、法定耐用年数40年を経過し、漏水、管路の破損なども多く発生しており、更新時期を迎えております。また、近い将来、高い確率で発生が予測される「南海トラフ巨大地震」に備え、被災を最小限にとどめ、迅速な復旧が可能となるよう、水道配水管路の耐震化を計画的に推進するものであります。今後、事業を予定しております区間は、震災時等において、重要度の高い防災拠点施設、避難所等となる松野町役場を、特に、給水が必要な重要給水施設に位置付け、豊岡前浄水場から松野町役場までの配水管路の耐震化更新事業を行うこととしております。委員会資料17ページをご覧ください。事業の全体計画としましては、管路更新延長が3.5km、測量設計費を含めた総事業費は、5億4000万円を予定しております。事業のスケジュールについては、令和7年度に豊岡前浄水場から日平温泉付近までの1kmの測量設計を実施、令和8年度から工事に着手し、順次、実施設計、工事を行

	い完成は令和１６年度を予定しております。単年度の工事費については、５千～６千万円を予定しており、財源については、国の補助事業であります防災・安全交付金を活用することとしており、補助率は４０パーセントとなります。補助残には、過疎対策事業債、公営企業会計適用債を各５０パーセントの充当することとしております。続きまして、２項企業債償還金、１目建設企業債元金償還金２５５０万１千円は、簡易水道事業債、公営企業適用債の元金償還金を計上しております。続きまして、予算書１６ページをご覧ください。予定キャッシュフロー計算書は、事業年度の現金の増減状況、収支を算定しております。続きまして、令和７年度の資金期末残高としては、２億２６６万２４２７円を見込んでおります。次に、１７～２３ページにつきましては、水道事業職員３名分の給与費、法定福利費手当等を一般会計に準じて作成しておりますのでの内訳についてはお目通しください。続きまして２４ページ、令和６年度簡易水道事業予定損益計算書について、本年度の経営状況を表す収支報告書でありまして、当年度末、処分利益、剰余金は、２５６７万８０３３円を見込んでおります。続きまして、２５～３０ページは、令和６年度末から令和７年度末までの簡易水道事業予定開始貸借対照表として、保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表示した報告書になりますので、お目通しをお願いします。以上で、議案第３０号令和７年度松野町簡易水道事業会計予算の説明を終わります。よろしくご審議いただき、ご承認いただきますようお願いいたします。
山 田 委 員 長	担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
赤 松 委 員	今簡易水道の配水管の耐震化事業について説明があったんですが、多分把握できとると思いますけど、この資料の中で、７４ページに、これまだ全部説明も受けてないんですが、農林振興課関連で、豊岡前中央水路改修事業が計画されております。 たまたまこの図面見てみますと、今回の豊前の配水管工事と、この

	今の中央水路の改修と、場所がすごく似た場所での計画にされております。 そしてその事業年度につきましても、8年度から実施をされるということでございますが、この中央水路工事も8年から8、9、10と3年間の計画がなされておりますので、簡易水道の配水管事業も、なるべく早急に事業実施をしていただいて、次の第2期のほうの豊前から役場の工事以外にも引き続き実施をしていただければなりませんので、ここら辺段取りよく事業実施をしていただきますようお願いを申し上げます。
坂 本 町 長	たまたまですけれども、うちの1番メインとなる豊前からの水道、それから、以前から話がありました豊前地区の農業用水路工事の場所も期間もかぶっておりますので、基本的には用水路は暗渠じゃなくて全部開渠を整備するということで、水道とは工法が違うんですけれども、お互いがバッティングして邪魔をし合ったりしないように、両方ともスムーズに事業が実施できて、委員御指摘のとおり、これで水道のほうは終わったわけじゃありませんので、能率よくやってほかのところにも早期に着手できるように心がけたいと思います。
山 田 委 員 長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。 ただいま審査しております、議案第30号について、原案のとおり可決すべきものと決定することに、ご異議ありませんか。 (異議なしの声) 賛成全員です。 したがって、当委員会は、議案第30号「令和7年度松野町簡易水道事業会計予算」については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年4月 日

松野町議会総務常任委員会委員長 山田 寛二